犯罪被害者週間
11月25日
▼
12月1日

一行詩「生命（いのち）のこえ」コンテスト

平成30年最優秀作品

小学生の部

ぼくの右手は
病気で少し大きい。
それを母は
「大きい分、たくさんの人を
救える神の手」とよぶ。

園田　十輪
〈木花小５年〉

一般の部

結局、将棋で1度も
勝てなかった。
もう勝負できないんだね。
勝ち逃げはずるいぞ、じいちゃん。

椎葉　章和
〈宮崎市〉

高校生の部

毎年、毎年、桜の木の下で
写る家族写真。
17枚目の今年、また全員揃った。
ただそれだけの事に幸せを感じる。

松田　陽菜子
〈日南学園高２年〉

中学生の部

「頑張って生きたら
何か1個ぐらい良い事あるかもね」
98歳の曾祖母が言った
「1個？」と私「1個で充分よ」

塚本　野伽
〈鵬翔中３年〉

テーマ　「尊い生命（とうといのち）」
～未来へ続く生命（いのち）のこえ～

全国各地で、殺人、強盗などの凶悪犯罪や少年のいじめによる自殺など「人の命の尊さ」を無視したような事件・事故などが後を絶ちません。今回、宮崎県内の小・中・高校生や、一般の方々から一行詩を募集し、これらの方々に、「人の命の尊さ」について考えていただき、犯罪の被害にあわれた方やそのご家族の辛くて悲しい想いを知っていただくことによって、これらの事件事故が一件でも減少することを祈るとともに、ひいては、安全で安心なまちづくりに寄与したいというものです。

※一行詩とは、短い詩のことです。一息で読める長さを一行として50字以内で表現してください。

募集期間　令和元年7月20日（土）～9月11日（水）

応募対象　宮崎県内在住の方（小学生以上）

応募方法　ハガキ・FAX・チラシ裏面応募用紙にて受付、一人2作品までとし、自作で未発表のものに限ります。
住所・氏名（フリガナ）・年齢・性別・職業（学校名・学年）・電話番号を明記してください。

発　表　11月上旬。入賞者への連絡をもって発表とかえさせていただきます。
応募作品は、みやざき被害者支援センターに帰属するものとします。

表　彰　令和元年11月30日（土）
宮崎市民プラザ　オルブライトホール

副　賞

最優秀賞	5千円相当の賞品／　4名	小・中・高校生・一般の中から1編ずつ
優　秀　賞	3千円相当の賞品／20名	小・中・高校生・一般の中から5編ずつ
入　　選	1千円相当の賞品／40名	小・中・高校生・一般の中から10編ずつ
学　校　賞	1万円相当の賞品／　3校	

主　催／（公社）みやざき被害者支援センター
協　賛／JA共済連宮崎
協　力／宮崎県警察・宮崎県教育委員会
後　援／宮崎県・宮崎県犯罪被害者等支援連絡協議会・宮崎県弁護士会・宮崎県公認心理師・臨床心理士会・NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・朝日新聞社・毎日新聞社読売新聞西部本社・西日本新聞社・宮崎日日新聞社・夕刊デイリー新聞社MCN宮崎ケーブルテレビ・BTVケーブルテレビ（株）・（株）ケーブルメディアワイワイ（公財）宮崎県防犯協会連合会・（公財）宮崎県暴力追放センター・（一財）宮崎県交通安全協会宮崎県安全運転管理者等協議会

応募・お問い合わせは
宮崎県公安委員会指定　犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 みやざき被害者支援センター
〒880-0806 宮崎市広島1丁目13番10号
TEL 0985-38-7831　FAX 0985-65-7831